

株式会社ルックホールディングスと「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまのESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートするESG評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品のESG評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャルグループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURCがESGに関する独自のチェック項目に基づき、お客様のESGに対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社ルックホールディングス（代表取締役社長 多田 和洋）は、当行を引受人とする本商品を発行いたしました。ルックグループは、「お客さま第一主義」の経営理念のもと、ファッションを通し顧客満足度を高めることを基本に、新しいライフスタイルや価値を創造し生活文化の向上に貢献していきます。ステークホルダーと共に持続可能な社会の実現に向けて役割を果たしていくと共に、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上に取り組めます。そのために、コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取り組みを経営上の重要な課題と位置づけ、客観性・透明性を高め法と企業倫理に従って、誠実で公正な事業運営を展開してまいります。

【高く評価を受けたESGに関する取り組み】

- ✓ 環境側面（E）では、CSR基本方針にて、環境についての方針が定められており、アパレル業界としてサステナブルなコットンの調達や「ファーフリー（※1）」製品の販売、バトラープログラム（※2）の実施など、事業と関連したサステナブルな活動に積極的に取り組まれている点が高く評価されました。
- ✓ 社会側面（S）では、CSR基本方針にて、人権・労働慣行について方針を示しており、従業員の労働時間を削減する取り組みや長時間労働の是正処置などに取り組まれている点が高く評価されました。また、人権教育にも取り組まれ、自社製品の使用時安全性の訴求や顧客満足度に対する対応を積極的に行われている点についても高く評価されました。
- ✓ ガバナンス側面（G）では、アンケート評価による取締役会の実効性評価の実施や、選任基準を踏まえた取締役の選任を実施されている点や、リスク管理体制を構築し行動指針を全従業員に対して周知され利益相反や腐敗の防止といったコンプライアンス遵守を徹底して実施されている点が高く評価されました。

（※1）ルックグループ全ブランドを対象として、リアルファー（毛皮）の使用中止を決定。2023年秋冬商品より、商品の製造・買付・販売を中止しております。

（※2）A.P.C.のローデニムをA.P.C.のショップに持ち込んで頂くことで、半額で新しいローデニムと交換するプログラムです。持ち込まれたローデニムは、ワークショップで洗われ、修理され、元所有者のイニシャルが記された上で、ショップに再登場します。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUGF Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。